

世界初の歯周組織再生剤リグロス®歯科用液キットの作用機序と使用上の注意点について

科研製薬株式会社 名古屋支店
学術部長 深山 浩

「リグロス®歯科用液キット」は、村上伸也教授(大阪大学大学院歯学研究科歯周病分子病態学)により開発された、遺伝子組換え技術により大腸菌を用いて製造したヒト塩基性線維芽細胞増殖因子 (bFGF、一般名：トラフェルミン) を主成分とする世界初の「歯周組織再生医薬品」です。なおトラフェルミンは褥瘡、皮膚潰瘍治療剤「フィブラスト®スプレー」として2001年より科研製薬(株)が製造販売しております。

「リグロス®歯科用液キット」は歯槽骨欠損部へ塗布することで、歯槽骨、セメント質及び歯根膜の再生を促進し、結合組織性付着を形成させます。2001年からフラップ手術を施行する歯周炎患者約1,000例を対象に5つの国内臨床試験を実施、その結果、新生歯槽骨の増加など歯周組織再生に対する有用性が確認され、2016年9月に製造販売承認を取得、同年12月より発売を開始しました。今回はその作用機序と使用上の注意点について解説させていただきます。

※リグロスのご購入には当社WEBサイトにてe-learningを行うか、説明会参加が必須です。
今回受講いただいた先生方は、購入が可能となります。